



たぬきのポンポコ通信

砂川次郎の議会報告 たぬきの薬屋さん 滋賀県志賀町小野朝日2-23-1
http://www.asahi-net.or.jp/~ph6j-sngw/ 電話 077-594-1505
Yahoo、Googleにて砂川 次郎で検索可能、Eメールもできるよ

2006年1月号



これからの志賀町はどこへ

早々と、合併後幼稚園の保育料の値上げ、小学校給食が今まで自学校で作っていたが給食センターからの出前になる。せつかく税金で作った施設を営利企業の手に移すと非難されている。指定管理者制度が比良トピア（希釈式温泉）やふれあいセンター、デイサービスセンターに適用されるという。そうならない為の合併であると賛成派は主張していたのとちやうか～

検証：12月議会の中身は・・・

砂川のみ反対！！

北部でバイパス無料化後の道路停滞等と同種の危険が発生するかも前例の失敗があっても再発を防ぐ努力をしない行政と議員たち
まあ、こんなレベルの町長と議員さんたちなんです

発議第20号： 住民生活を支える道路の整備促進と財源の確保に関する意見書の国への提出について 可決

賛成： 合併賛成派+田中かおる議員+公明党議員（浜奥修利議員、坪井由美子議員）
筒井けんじろう議員、長曾いちろう議員、小松あけみ議員、
共産党議員団（谷 直議員、藤岡さきこ議員）

反対： 当方・砂川

私がなぜ反対したかという。「合併建設計画」に基づき効率的かつ一体的に促進できるよう」との文言が意見書に入っており、これはとりもなおさず新道堅田真野線（堅田の仰木道よりローズタウン南端に接続する新道）の促進も含み、国道を通過するはずの車がローズタウンから蓬萊駅に至る生活道路に流れ込み住民の安全を脅かす可能性があるにもかかわらず、町長は何も対策をとらないと取れる答弁をしている。よって、この意見書は上記の懸念があるので反対した。

上記の砂川の判断に対して、
「新道堅田真野線は大津市側の道路行政範囲であり、今回の意見書の範囲外であ

る。」との反論が出たが、この反論はマヤカシである。なぜならこの意見書が目標としているのは当然に国の新年度予算であり、その時はすでに志賀町の合併後であるから、この請願は合併後の大津市が行う道路行政へ対しての国への支援要請の意見書という意味合いを強く持っているからである。生活道路の安全性低下が起こった場合の責任は賛成した議員さんたちにある。

発議第22号： 日本国民に食の安全と安心を保障し、国内の畜産を守るためにアメリカ産牛肉などの輸入再開を行わないよう求める意見書の提出について 否決

賛成： 共産党議員団（谷 直議員、藤岡さきこ議員）、小松あけみ議員、
当方=砂川

反対： 合併賛成派+田中かおる議員+公明党議員（浜奥修利議員、坪井由美子議員）
筒井けんじろう議員、長曾いちろう議員、

砂川は下記の趣旨の賛成討論をおこなった。

この議案の後に同じような内容の議案である 保守派が提出した発議第25号 があるが、それと比べるとこの第22号の方が内容が具体的に述べられており優秀なのでこちらの第22号に賛成する。

解説： 同じような議案が重なった理由は、志賀町議会の保守系議員には共産党議員よりの提出議案には全て賛成しないといういじさがあり、自分たちも賛成したい議案が共産党より出された場合は同様の議案を後から提出する恥ずかしい事が何度かあった。

日程第10： 議員の派遣について 目的 中央陳情 バイパスⅡ期工区および小松拡幅工区の早期完成を求めるため 可決

賛成： 合併賛成派+田中かおる議員+公明党議員（浜奥修利議員、坪井由美子議員）
筒井けんじろう議員、長曾いちろう議員、小松あけみ議員、

反対： 当方=砂川
共産党議員団（谷 直議員、藤岡さきこ議員）

中央陳情=東京に大勢で多額の税金を使って新幹線で行く必要はないと判断した。

議員がゾロゾロ 東京に陳情に行き 国会議員と会い、また会食もして陳情する。

古い体質の陳情風景である。

後に送られてきた議会からの書類を見ると、「2. 個人負担として、2万円をお預かりし、後日精算いたします。」と書いてあるので、やっとな税金を使わないで行くのかな? と思い、議会事務局に聞くと、「今までどうり 交通費・日当は支払われる、この2万円というのは タクシー代 と 国会議員との会食の費用である。」との返事であった。

議員日当 一人一日2600円 および JR湖西線各駅から東京までの運賃往復×陳情参加人数 であり、日帰り陳情であっても高額な税金が使われるのである。

追伸： 砂川は参加しません。

～県議会で志賀町合併議案に反対せず、その時だけ席を空け
住民を裏切りプロ政治家になった 岡崎もとこ県議 -2-

祝・オンブズマンの勝利 これから全国的に迷惑施設に対して 迷惑料は支払われなくなっていく

もはや志賀町大型産廃焼却場の場合でも
地元等への迷惑料の支払いは無理であろう

迷惑料の支払いが違法であるとの判決が確定
迷惑料を払って住民の納得を得ようとする、行政の手法は否定された。
お金がもらえるのやったら なんでもOK という
住民の姿勢も否定された。

ところで、以下記事の自治会に支払われた計約1億3000万円にのぼる高額のお金は適正に使用されていたのでしょうかといえ、あまり使用されずに自治会の預金に大金がプールされているのが判明し、滋賀県のオンブズマンは県が自治会に返還すべきであるとしたが県は回収を拒否した。
判決で迷惑料の支払いが違法であると確定していることもあり、志賀町に作られるであろう超大型ゴミ焼却場についても迷惑料等の話はほぼ無理であろうし、ごり押しに支出しようとするればさらに違法性が強い方法となってしまいうであろう。

： 資 料 ：

Kyoto Shimbun News 2005年10月8日(土)

<http://www.kyoto-np.co.jp/article.php?mid=P2005100800046&genre=A2&area=S10>

滋賀県が「迷惑料」支出を中止草津の処理場 高裁判決受け

下水処理施設「湖南中部浄化センター」（草津市）の周辺住民に滋賀県などが「迷惑料」として環境対策負担金を支払っていた問題で、県は7日までに、県の支出の違法性を認定した大阪高裁判決を受けて、今後は支払わない方針を決めた。

県によると、草津市の住民団体「矢橋帰帆島対策協議会」と8月30日に持った会合で、県下水道計画課の三和田大衛 副参事らが「二審判決を重く受け止め、今後、県が負担金を支出することはない」と伝えた。

同協議会の草川満治会長は「納得できない」と主張し、今後も県と協議する方針だ。

県は1983年度から2003年度までの間、9市5町でつくる琵琶湖湖南中部地域下水道推進連絡協議会を通じ、計約1億3000万円を地元の4自治会に支払った。

市民団体のメンバーが知事に賠償を求めた民事訴訟の控訴審で、大阪高裁は7月、知事の賠償責任は認めなかったが、「負担金の支出は必要性を欠き、違法と認められる」と判断していた。

～ 社民党・民主党が県議会で大産廃焼却場土地
購入に賛成したことを私たちは **忘れない** - 3 -

友人の門真市議会 戸田ひさよし議員の逮捕

今大問題となっている設計強度偽装事件に先立ってシャブコン = 水薄め脆弱生コンの危険性をマスコミとタイアップして告発していた、ただ一つの組合 = 連帯労組関西生コン支部委員長 = 武健一氏の逮捕・異常な長期拘留の中、その上部団体の連帯労組近畿地方本部委員長でもある戸田ひさよし門真市議会議員が12月8日大阪府警本部警備部によって「450万円の政治資金規正法違反」として不当逮捕された。

自衛隊官舎のポストにイラク派兵反対ビラを入れただけで、住居進入と違法な解釈で逮捕したり（ピザ屋のチラシはOKとは驚くばかり）、他では初老の平和運動の僧侶まででっち上げの逮捕を許す警察・検察・裁判所である。

戸田の異常な逮捕もこのような一連の言論や表現の自由を侵し・米国の戦争による世界コントロール政策への抵抗を取り除こうとの小泉政権の流れとみれば納得できる。

戸田議員の逮捕は、仮に戸田に違法性があってもこの程度の問題でいきなり議員が議案の説明を受けている時に、警察があらかじめ逮捕をマスコミに伝え引き連れて議会建物に踏み込んでのマスコミの目前での逮捕や、正月を挟んでの長期身柄拘束は他の政治資金規正法違反事件捜査事例に照らしてあきらかに異常で不当である。

多くの有識者が他の意図 = 反戦運動等社会運動や大資本に不利な組合活動を展開している組合ツブシ・議員つぶしであると考えるのは不思議なことではない。

「労働団体から金銭を受け取っていたのが事実であれば正当な逮捕である。」という一見正義ぶった意見もあるが、逮捕の前提は（逃亡・証拠隠滅の恐れがある時）であり、戸田議員の場合は、議員・組合幹部であり逃亡するような事例ではなく、多くの個所の家宅捜索により多数の証拠はすでに押さえられている中、警察が一度も事情聴取もしないままの急な逮捕はこの面からしても違法性が高い。

仮に戸田に落ち度があったとしても、今までの事例では逮捕も無く返還や項目の訂正等で処理されている程度の取り扱いであるのに、大げさに警察は政治ショーに利用した。

政治やニュースに関心の無い市民が知らんうちに 「忍び寄る警察国家の影」

ワシの言葉やないで、元国家公安委員長の白川勝彦さんが言っている事やで
合併賛成派がワシのことを隠れ共産党と大宣伝をしたが党派は好きではない
ワシは自由主義者 = リベラリスト である

<http://www.liberal-shirakawa.net/idea/policestate.html> 白川 勝彦氏HP より下記を抜粋：

「君たちはいつもあんな風な職務質問をするのか？ 日本という国も恐ろしい国になったもんだなあー。 困ったことだ」 - 中略 -
自由主義社会というのは、国家からの自由も、できるだけ保障する社会なんだ。私は自由主義者として、そういう社会を作ろうとして努力してきたのだ。

～ 怒らない抗議しない住民は隠れ産廃推進者の美味しいエジキ - 4 -